

第13回「共歩の会」開催のご案内

「日本橋界隈ビルディング探訪」

2017年9月28日

今回は「日本橋界隈ビルディング探訪」をテーマとし、高島屋日本橋店をスタートし、歴史的建造物が林立している日本橋周辺を散策します。歴史が長い建造物が多いので、見れば見るほど、熟練したデザインの奥深さを感じさせられます。

また、歩くことに加え、貨幣博物館の見学も企画いたしました。貨幣博物館では、貨幣の展示のほか、どうしてその貨幣が登場・流通したのかの資料も展示されていますので、お金に関する勉強だけでなく、時代の流れを正しく見通すための重要な手掛かりにもなります。

17時から「炭火やきとり さくら」という店で食事会を行う予定です。

ご都合お繰り合わせのうえ、大勢の皆様方のご参加をお待ちしております。なお、ご友人とのご参加も大歓迎ですので、お誘いあわせの上ご参加ください。

※貨幣博物館

⇒<https://www.imes.boj.or.jp/cm/index.html>

※炭火やきとり さくら

⇒<https://r.gnavi.co.jp/e686519/>

■開催日：平成29年10月28日（土）

■集合時間：15時00分

■集合場所：日本橋駅 B2 高島屋出口

※目印：「共生の会」水色の旗

■参加費：無料

■食事会：3,000円

■定員：20名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

■スケジュール

・15時：銀座線日本橋駅 B2 高島屋出口 集合

・17時：宝永時鐘鐘楼 終点

・17時00分～19時00分：夕食会（飲み放題付き宴会コース）

※解散は19時頃を予定しております。

■主な見どころ

名称	完成年	設計者	主な特徴
高島屋日本橋店 2009年重要文化財	1933年	高橋専太郎 村野藤吾(増築)	欧米のデパート同様、宮殿のようなデパートをめざした威風堂々の建物。
	昭和8年		
日本橋野村ビル (野村證券本店)	1930年	安井武雄 (大坂を拠点に活躍)	モダンさと個性の強さは、かつての大坂の存在感を示している。
	昭和5年		
日本橋ダイヤビルディング	2014年	三菱倉庫	1930年(昭5年)江戸橋倉庫ビルの外壁をそのまま残している。 アール・デコスタイル。
	平成26年		
日証館	1928年	横河民輔 (横河工務所)	現在の外装は新しいものだが、設計者は横河ブリッジ、横河電機の創設者でもある。
	昭和3年		
山二証券本社 (旧・片岡証券)	1936年	西村好時	銀行の建物建築を得意とした西村。古代ギリシャやローマの建築という西洋伝統のスタイル。戦前は安心感第一である金融系建物の定番中の定番。
	昭和11年		
フリップ証券本社 (旧・成瀬証券)	1935年	西村好時	銀行の建物建築を得意とした西村。古代ギリシャやローマの建築という西洋伝統のスタイル。戦前は安心感第一である金融系建物の定番中の定番。
	昭和10年		
日本橋(橋梁) ※集合写真	1911年	米元晋一 樺島正義 妻木頼黄(よりなか)	内務省や大蔵省の建築技師を歴任した妻木。和風デザインを取り入れた石造アーチ橋を実現、日本橋を近代らしく染め替えた。
	明治44年		
日本橋三越本館 2016年重要文化財	1927年	横河工務所	百貨店の建物としては高島屋日本橋店に次いで国の重要文化財に指定された。5階まで吹き抜けになった中央ホールには古典的装飾からアール・デコまで様々なスタイルがあり、戦前の上品で享樂的な空間が今も生きている。
	昭和2年		

三井本館	1929 年	トロブリッジ・アンド・リヴィングストン設計事務所	三井財閥の本拠地新築にあたり、当時としては珍しく国外の建築設計事務所に任せた。アメリカ流の古典主義様式。
	昭和 4 年		
日本銀行本店本館 貨幣博物館見学	1896 年	辰野金吾の代表作 昭 13 増築	古典主義建築のお手本ともいべき建築。
	明 28 年		
近三ビルヂング (森五商店東京支店)	1931 年	村野藤吾	村野藤吾が自らの建築設計事務所を設立して最初に完成させた作品。モダンなデザインで 80 年前のものとはとても思えない。
	昭和 6 年		
山梨中央銀行 東京支店	1929 年	徳永 庸	戦前の街なかの銀行の典型例。徳永の独立間もない頃の作品。
	昭和 4 年		
丸石ビル (大洋商会ビル)	1931 年	山下康郎 (山下海軍大将の甥)	中世の教会のように柱上部などにライオンやフクロウなどの動物や妖怪の装飾。ロマネスク様式としては都内一・二を争うクオリティ。
	昭和 6 年		
中央区十思スクエア	1928 年	東京市	関東大震災の復興小学校のひとつ。
	昭和 3 年		
宝永時鐘鐘楼	1930 年	東京市	帝国ホテル(フランク・ロイト・ライト設計)のようなデザインが昭和初めに流行していた。江戸時代の時の鐘を収めながらレトロでないのが震災復興期らしい。
	昭和 5 年		

■その他

・終了後、アンケートにてご意見・ご感想をお聞かせください。

■参加申込

・ご参加のお申し込みは、10月20日(金)までに下記メールまたは申し込みフォームにてご連絡ください。

メール：info@kyouseinokai.org

参加申込フォーム：<http://www.kyouseinokai.org/kyouhoform.html>

※定員は20名です。定員になり次第、締め切らせていただきます。

■ご連絡先

特定非営利活動(NPO)法人「共生の会」

東京都渋谷区幡ヶ谷 1-29-9

電話：03-5465-1116 / FAX：03-5465-1133

メール：info@kyouseinokai.org

○実施要領

1. 参加される方は、各自、決められた場所に集合し受付してください。集合時間に受付のない場合は、不参加扱いとさせていただきます。
2. 参加者は、各自の自己責任でご参加願います。参加中のけがや事故等につきましては、共生の会は一切の責任を負わないものとします。
3. 係員の指示や注意事項は必ず守ってください。
4. 参加に当たっては、交通ルール・マナーを守ってください。
5. 小雨は決行いたしますが、大雨、台風などの警報が出ている場合は中止とします。前もって天気が悪くなると予想される場合は、メールやHPを通じてご連絡いたします。
6. その他
 - (1) コースから離脱されることは自由ですが、係員に申し出てください。
 - (2) お土産を購入したいなど短時間コースを離脱する場合は、係員に申し出てください。
 - (3) 用意するもの
 - ・スニーカーなど歩きやすい靴。
 - ・タオル、帽子、サングラス等必要に応じて。
 - ・出来れば、両手を自由にするためのリュックサックあるいはナップザックがよろしいかと思えます。
 - ・飲料水としての水筒またはペットボトル。
 - ・念のために雨具。
 - (4) 万が一に備えて、健康保険証かそのコピーをご持参ください。